

(費用対効果分析説明資料)

事業名	地すべり対策事業	地区名等	三ツ目内
-----	----------	------	------

【費用対効果の算定内容】

1. 費用対効果の算定根拠

算定については、「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」(平成12年1月 建設省砂防部)によった。本マニュアルにおいては、便益(B)は被害軽減便益・人命保護便益とし、整備に係る事業費を費用(C)として評価するものである。

2. 事業全体の投資効率性

1) 地すべり対策に要する費用

総費用(C) = 1,120百万円

総費用算出根拠

地すべり対策に要する費用(事業費)を年度別に設定し、現在価値化したもの。

事業費	1,200
現在価値	1,120

2) 地すべり対策による便益

総便益(B) = 7,602百万円

総便益算出根拠

地すべりによる被害が被害想定区域内に及ぶものとして、その一般資産被害軽減額、公共土木施設等被害軽減額、人的被害軽減額等を算出し、それぞれ現在価値化したものの合計を総便益とする。なお、便益は事業投資額に比例して事業初年度から発生し、整備後50年間発生するものとする。

事業効果(B) (百万円)

区分	一般資産被害軽減額			公共土木施設等被害軽減額		人的被害軽減額	合計
	人家	事業所	耕地	道路・鉄道	公益施設	人的被害	
便益	4,636	201	287	983	433	1,062	7,602

【費用対効果分析の結果】

$B/C(\text{再評価時点}) = 7,602 \text{ 百万円} / 1,120 \text{ 百万円} = 6.79$



三ツ目内区域 全景写真



地すべり防止区域  
A=150.39ha

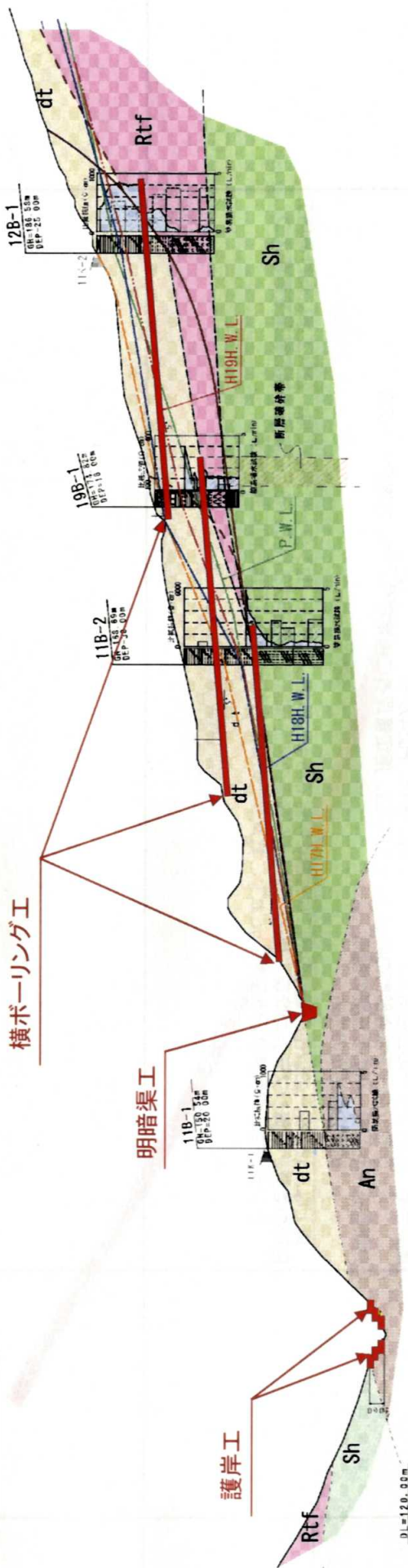
大鰐第二小学校

三ツ目内区域地すべり空中写真

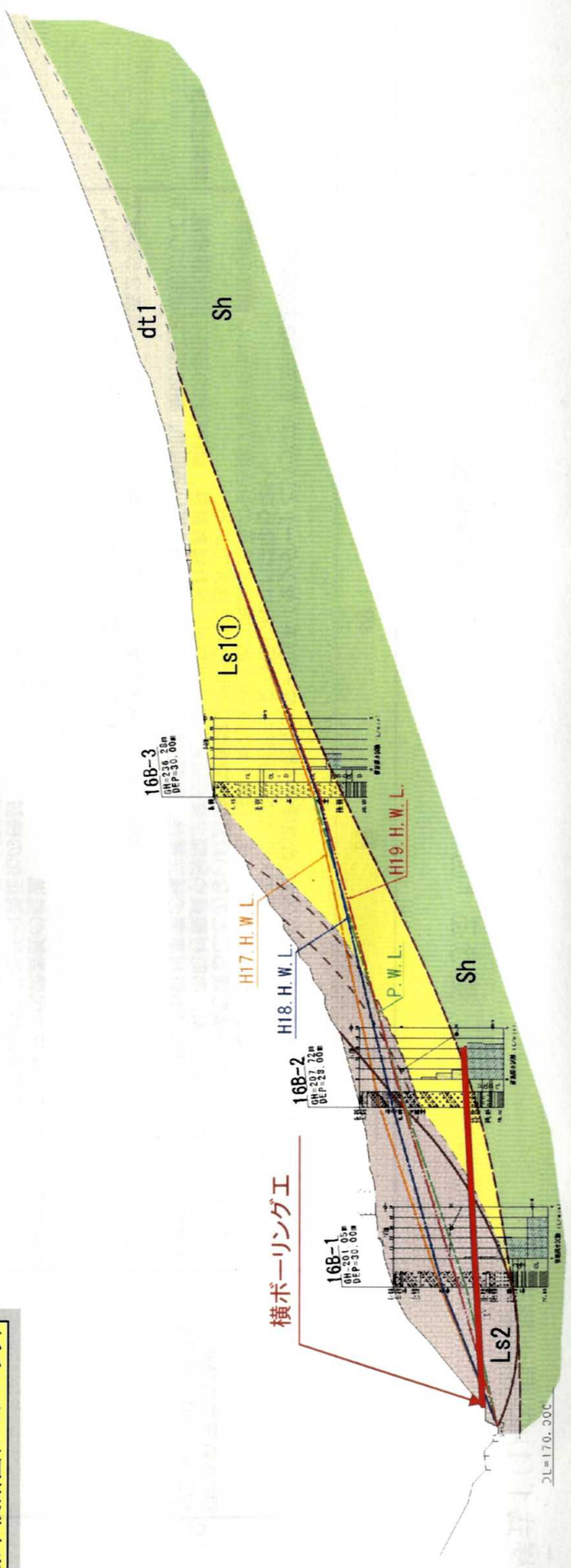
災害時要援護者施設  
ワークキャンプ大鰐

# 三ツ目内区域 標準断面図

標準横断面図(1ブロック)



標準横断面図(5-1ブロック)



## 三ツ目内区域 災害状況

地すべり発生状況(1ブロック)  
林道が被災



撮影:平成18年4月14日

## 三ツ目内区域 対策状況

地すべり対策状況(1-1ブロック)  
横ボーリング工



地すべり対策状況(2ブロック)  
法面工(施工中)

